



愛郷無限

土屋館  
どや  
だて 通信

発行者：大曲・花火通り商店街  
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035  
tuck-t@akita-tsujiya.jp

2014年10月22日号 NO.499

写真提供：大山市

## Subject : B-1 グランプリ in 郡山 素晴らしい街おこしの祭典

10月18～19日の二日間、福島県郡山市で開催された【ご当地グルメでまちおこしの祭典 B-1 グランプリ in 郡山 東北・福島復興応援特別大会】に、大曲納豆汁旨メモの研究会のメンバー40名で出展してきました。

テレビや新聞で既に皆さまご覧になられていると思いますが、優勝は青森県十和田市の【十和田バラ焼きセミナー】。日頃から脱帽するより他に無いほどの本当に素晴らしい【食で街おこし活動】を展開しており、B-1会場のブースに於いても、比類無きほどの【おもてなし】精神の具現化、【次世代の子ども達】との協働活動の成果を、余すことなく伝えていました。最初から優勝はここ意外にないと確信できるほどの素晴らしさなので、皆さんも機会があれば是非ご自身の目で、現場で見たいと思います。

残念ながら私たちは10位以内に入賞することは出来ませんでした。自分たちでは一生懸命取り組み、準備したつもりであっても、全国最強の街おこし団体達と一緒にB-1会場でブースを並べて、来場者を迎え入れると、未だ未だだな～と痛感します。年に一度、全国から集まる仲間達と一緒に出展すると、本当に様々なことを学ぶことができます。井の中の蛙には絶対になってはいけません。痛感させられます。

と言っても決して卑下するだけではありません。北九州での初出展以降、昨年の豊川、今年の郡山と、私たちウメ研のおもてなし力、PR力のレベルは着実に進歩・向上していることを実感できました。特に今回は若手メンバーが奮起し、様々な新しい取組・見せ方に挑戦してくれたことが本当に嬉しいのです。実際に現場で大曲納豆汁を食べていただいた来場者はとにかく好評価。確信は自信に変わります。おかわり率が多いのも特筆すべき点です。メンバーはもとより、大曲農業学校家庭部の生徒達、微笑みシスターズの母さん達も素晴らし頑張りでした。特に高校生達は初めての体験にもかかわらず、慣れてくるにつれどんどん元気がよくなり、声も出て、自信すら感じるほどでした。自分たちの街を人前で臆すことなく堂々をPRする。学校生活では体験できない希有な機会になったと思います。

B-1 グランプリの閉会式では愛Bリーグの仲間が口を揃えて異口同音に言う言葉があります。**【まちづくりに終わりはない。さあ今日からまた一年間364日、我が郷里のまちづくり・人づくりに邁進しよう！そして来年のB-1グランプリに集い、来場者の皆さんに一年間の活動成果をお披露目しよう！】**

このようなマインドで取り組んでいる人達です。決してモノ売りではないのです。

来年は青森県十和田市での開催です。

大曲納豆汁ウメ研、それまでの一年間引き続き精進を続けます。  
変わらぬご声援とご協力 宜しく願い申し上げます。